

第 17 回（平成 30 年度第 2 回）CPD 運営委員会議事録

日時：平成 30 年 7 月 9 日（月）15:00 ～ 17:30

場所：森戸記念館 2 階 第 2 会議室

出席者：須藤亮委員長（会長）、石原直幹事（副会長）、高木真人委員（副会長）、奥津良之委員（ECE 幹事長）、尾崎章委員（CPD 幹事）、小澤郁夫委員（CPD 委員）、原龍雄委員（広報委員長）、渡邊誠委員（ECE 委員）、日本工学会事務局島田敏男

議題：

1. 前回議事録の確認について
2. 各委員会活動報告
3. H30 年度第 2 回公開シンポジウムの企画について
4. 今後の活動について
 - (1) CPD 協議会規程について（CPD 広報委員会の記載等）
 - (2) 日本工学会広報担当理事と CPD 広報委員の連携
 - (3) CPD ポイントの相互認証、合算等
 - (4) CPD 活動の日本工学会全体としての事業化
 - (5) 会員学協会の CPD 関連の URL 情報入手（事務局経由）
5. その他

配布資料：

第 17 回（平成 30 年度第 2 回）CPD 運営委員会（本紙）

日本工学会 CPD 協議会役員・委員名簿（平成 30 年 6 月 25 日現在・理事会承認）

各委員会名簿（平成 30 年 7 月 9 日）

1：第 16 回（平成 30 年度第 1 回）CPD 運営委員会議事録（案）（H30.4.16）

2-1：平成 30 年度 CPD 協議会全体会議議事録（案）（H30.5.30）

2-2：平成 30 年度第 1 回 CPD プログラム委員会議事録（案）（H30.6.19）

2-3：第 45 回 ECE プログラム委員会幹事会議事録（案）（H30.4.16）

2-4：第 9 回 CPD 広報委員会議事録（案）（H30.6.25）

3：平成 30 年度第 1 回 CPD 協議会公開シンポジウム報告（H30.5.30）

4-1：日本工学会 CPD 協議会規程

4-2：役員を担当業務

4-3①：日本工学会 CPD ガイドライン

http://www.jfes.or.jp/cpd/topic/topic20100823_cpd-guideline.pdf

4-3②：継続教育の受講歴統一化に関する検討報告

4-4：CPD に関するホームページアドレス

<http://www.jfes.or.jp/cpd/index.html>

議事：

1. 前回議事録確認

関係委員より資料 1 に沿って H30 年 4 月 16 日開催の第 16 回（平成 30 年度第 1 回）CPD 運営委員会議事録（案）の説明があり内容の確認を行った。

- ・ CPD プログラム委員会提案のフェロー活動の活性化に関して、現在フェローは百数名（H28 年度認定までで 101 名）との報告があった。
- ・ ECE プログラム委員会の報告に関して、1 番目の項目冒頭に「SICE に関して」を追加記入すること、2 番目の項目について、「ECE プログラム認定等について、完了及び継続承認が 2 件、新規承認が 2 件、プログラム開発中が 1 件であることが報告された。」と修正することとした。

2. 各委員会報告

2.1. 全体会議実施報告

高木委員より、先に全体会議メール審議で承認された 5 月 30 日に開催された平成 30 年度 CPD 協議会全体会議議事録の確認が行われ誤字修正を行った。なお、例年全体会議の議題としている「前年度活動報告」、「次年度活動計画」を審議事項として扱うのが良いか検討することとした。

2.2. CPD プログラム委員会報告

高木 CPD プログラム委員長より、資料 2-2 を使って 6 月 19 日に開催した平成 30 年度第 1 回 CPD プログラム委員会での審議模様が報告された。日本工学会の CPD 関連活動の在り方から、CPD 協議会、CPD プログラム委員会の個別課題への対応の進め方まで含めて多くの議論が行われ、引き続き課題解決に向けた議論を進めていくことが報告された。

2.3. ECE プログラム委員会幹事会報告

奥津 ECE 幹事長より、資料 2-3 を使って、4 月 16 日開催の第 45 回 ECE プログラム委員会幹事会が開催され、SICE プロセス新塾 2018、NIMS ECE プログラム、産総研 IoT プログラム、4 大学コンソーシアム NANOBIC ナノファブスクエア ECE プログラムの継続/新規申請書案が報告され、その直後に開催された ECE プログラム委員会で承認されたことが報告された。また、新規 ECE プログラムとして「エレキハード人材育成プログラム」の検討状況が紹介された。

2.4. CPD 広報委員会報告

CPD 協議会広報委員会と日本工学会広報委員会の担当範囲の議論をきっかけに、日本工学会 CPD の在り方など基本問題の議論が行われた。議論のポイントは以下の「4.今後の活動について」に記録する。

3. H30 年度第 2 回公開シンポジウムの企画について

今年度は「科学技術人材育成コンソーシアム」との共同開催を検討することとなってい

ることから、先方（岸本副代表）とよく連携をとって進めることとした。

4. 今後の活動について

上記 CPD 広報委員会活動報告、事務局より提示された資料 4-1, 4-2, 4-3, 4-4 を基に、CPD 活動の在り方、CPD 協議会の組織体制、CPD 広報の在り方などについて以下のような議論があった。なお、資料 4-1 の Word ファイル、資料 4-3①の URL、資料 4-3②の pdf ファイルは事後に事務局から各位委員に送付された。

- 日本工学会&CPD 協議会のミッションは「各学協会に継続教育を活発に推進してもらうこと」である。日本工学会として「人材育成についての基本論」を議論すべき。
- 日本工学会本部（理事会）の広報委員会は機能していないので CPD 広報委員会が学会を代表して広報活動を行うとよい。
- これに伴って、当委員会名は単に「広報委員会」とするのがよい。
- この広報委員会は、CPD だけでなく、科学技術人材育成コンソーシアム、技術者倫理委員会の活動も扱うことになる。なお、現状の CPD 協議会 HP のポータルサイトは CPD 活動に限定していることに留意すること。
- CPD 協議会は、科学技術・研究人材の育成を目的として、「技術者生涯教育（+ポイント制）の促進・支援」と「高度技術者教育の提案・支援」を推進しており、前者を CPD プログラム、後者を ECE プログラムがカバーしていることを広報すると良い。
- 基本的な CPD 協議会ミッションは、「継続教育の重要性」を社会にアピールすることである。
- 「工学」に限ることなく、現状認識に基づいてリカレント教育の重要性を訴えるべき。
- そもそも我が国のサラリーマンは自己啓発の意欲を持っているかどうか疑問だが、「9割は忙しい仕事をこなし、1割くらいは自己啓発に充てる（岸）」位のことを考えようと訴えるのは良いのではないか。
- 以上の広報委員会のミッションと位置づけについては「原案」を作って理事会に上げることになる。
- CPD 協議会の規程には、委員の選任や開催条件など、不明確あるいは不自然な点があるので高木委員が中心となって改訂の検討を開始する。

5. 次回会議について

今回は、9月13日（木）の午後3時～5時に開催することとした。

以上